# 証券アナリスト (CMA) プログラムの改定について

日本証券アナリスト協会では、証券アナリスト (CMA) プログラムを 15 年ぶりに改定し、6 月より新プログラムに基づく第 1 次レベル講座を開講します(受講申込受付は、5 月 21 日 (金) からです)。

新プログラムでは、金融・投資のプロフェッショナルの育成という当協会の使命に基づき、前回 改定以降の市場環境や CMA の役割の変化、ならびに職業倫理(コンプライアンス)の一層の重視 などを踏まえて、学習カリキュラムの体系を全面的に見直しました。

新プログラム(カリキュラム体系、講座・試験)の概要は、以下のとおりです。

### 1. カリキュラム体系(学習分野の再編)

- ・ 旧カリキュラム体系では第1次レベル講座は3つの学習分野、第2次レベル講座は4つの学習 分野で構成されていましたが、新カリキュラム体系では第1次レベル講座、第2次レベル講座 に共通の6つの学習分野に再編しました。
- ・ 主な変更点は、①「コーポレート・ファイナンス」と「職業倫理・行為基準」を、第1次レベル講座から学習する分野としたこと、②「数量分析と確率・統計」を、各分野に記載されていた関連事項をまとめて独立した学習分野としたことです。

#### 新しいカリキュラム体系

学習分野(第1次・第2次レベル講座共通)
証券分析とポートフォリオ・マネジメント
財務分析
コーポレート・ファイナンス
市場と経済の分析
数量分析と確率・統計
職業倫理・行為基準

### 旧カリキュラム体系

学習分野(第1次レベル講座)
証券分析とポートフォリオ・マネジメント
財務分析
経済

学習分野(第2次レベル講座)
証券分析とポートフォリオ・マネジメント
コーポレート・ファイナンスと企業分析
市場と経済の分析
職業倫理・行為基準

#### 2. 講座の概要

#### (1) 開講期間

・第1次レベル講座は6月から翌年1月末まで、第2次レベル講座は8月から翌年3月末までです (従来の期間と変更はありません)。

#### (2) 教材

- ・ 教材は、「講座テキスト」、「試験問題(過去問)および解答」から構成されています。講座テキストは、受講者がより理解しやすいよう、従来よりも図解・数値例や例題、章末の練習問題を充実させました。また、CMA 資格の取得に求められる知識・スキルを、約850個の「学習ポイント」(第1次レベル・第2次レベル講座共通)としてまとめ、学習の目標を明示し、理解度を確認するための指針としました。
- ・ このほか、マイページからアクセスして過去の第 1 次試験の問題を学習できる学習支援ツール を提供する予定です(具体的内容および提供開始時期等については、年内を目途にお知らせいた します)。

#### (3) 受講料

	第1次レベル受講料 (新規受講および再受講)
会員受講者	54,000 円(税込)
一般受講者	60,000 円(税込)

(注) 2022 年度第2次レベル講座の受講料は、会員、一般とも57,000円(税込)です。

#### 3. 試験の概要

- ・ 新カリキュラム体系に基づく第1次試験は2022年から、第2次試験は2023年から開始します。
- ・ 第 1 次試験は、従来と同様に科目別で行われます。科目 I は「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」、科目 II は「財務分析」と「コーポレート・ファイナンス」の 2 つの学習分野、科目 III は「市場と経済の分析」、「数量分析と確率・統計」、「職業倫理・行為基準」の 3 つの学習分野です。これら 3 科目に合格すると第 1 次試験の合格となり、第 2 次レベル講座を受講できます。
- ・ なお、2022年の第1次試験の日程や科目別配点等の詳細は、2021年10月頃に当協会のウェブサイトで公表します。

	実施時期 (予定)	試験時間	出題形式
第1次試験(科目別試験)	春:4月下旬 秋:9月下旬 または 10月上旬	科目 I (約 180 分) 科目 II (約 90 分) 科目 III (約 90 分) (合計 360 分)	すべて正解が1つの客観問題(計算問題、穴埋め問題を含む選択肢形式)。 答案用紙にマークシートを採用。
第2次試験 (総合試験)	6月上旬	360 分 (午前、午後合計)	計算問題を含む記述式応用問題。 採点に際しては、解答に加えて、解答に 至る論旨展開も重視。

新プログラムの詳細等につきましては、当協会ウェブサイトおよびスタディ・ガイド(ウェブサイトに掲載)をご覧ください。

以上

## 【本件に関する照会先】



教育運営部 education@saa.or.jp